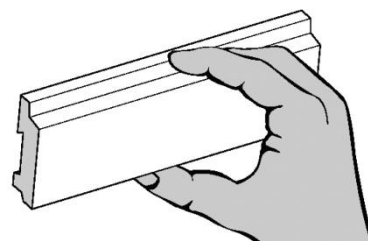


乾式引っ掛け工法〈木造〉施工説明書

(セラレーン PB シリーズ・PB-90)

Vol. 02-4



ニッタイ工業株式会社

2023 年 4 月 3 日改正

INDEX

1. 総則

- 1-1 適用範囲
- 1-2 設計及び施工上の禁止・留意事項
- 1-3 免責事項

2. システムの構成

3. 材料

- 3-1 専用パネル
- 3-2 セラレーン PB シリーズ〈セラミックタイル〉
- 3-3 副構成材
- 3-4 補助部材

4. 施工方法

- 4-1 施工前の注意点
- 4-2 工程図
- 4-3 施工手順
 - (1) 構造体
 - (2) 土台水切りの施工
 - (3) 防水テープ・透湿防水シート張り付け
 - (4) 木胴縁の取り付け
 - (5) 専用パネルの墨出し
 - (6) 専用パネルの留め付け
 - (7) シーリング（専用パネル）
 - (8) タイルの取り付け
 - (9) 開口部水抜き部材の施工方法
 - (10) 検査
 - (11) 化粧シーリング・清掃

5. 各部の納まり

- (1) 土台部
- (2) 専用パネル縦ジョイント部
- (3) 専用パネル水平ジョイント部
- (4) 出隅部
- (5) 入隅部
- (6) 軒天部
- (7) 開口部（外付サッシ使用）
- (8) 開口部（半外付サッシ使用）
- (9) オーバーハング部

6. タイルの納まり

- (1) 平面部
- (2) 出隅部
- (3) 入隅部
- (4) 軒天部
- (5) 開口部
- (6) ポーチ柱部

7. タイル割付けの注意点

- (1) タイルの割付け
- (2) 専用パネルの割付け

1. 総則

1-1 適用範囲

本マニュアルは、**木造 3 階建以下かつ高さ 16m以下の集合住宅、戸建住宅**を前提とした木造新築建築物外壁に、乾式引っ掛け工法専用下地 PB-90 を留め付けた後、引っ掛け工法用タイル（セラレーン PB シリーズ）を引っ掛けることにより、タイル壁面を構成する場合に適用します。防火措置としては、30 分防火構造、45 分準耐火構造が認定取得されていますので、この範囲でご利用いただけます。また窯業系サイディングを利用した専用下地 PB-90 は釘留め施工専用仕様ですから、鉄骨系住宅には利用できません。ただし、別途金具留め専用下地も用意していますので、必要な場合はご相談ください。

品番	準不燃材料認定番号	防火構造認定番号	45 分準耐火構造認定番号
PB-90	QM-0639	PC030BE-9201	QF045BE-9226

設計仕様としては通気工法（胴縁仕様）が標準仕様であり、木造軸組、枠組工法が前提となります。屋内内壁への施工も可能ですが、専用パネルを確実に留めることのできる構造体であることが条件となります。

セラミックタイルの選択は、「ニッタイ タイル・建材カタログ」**セラレーン PB シリーズ乾式引っ掛け工法**タイルバリエーションの中からお選びいただけます。

1-2 施工上の禁止・留意事項

（1）施工上の禁止・留意事項

・ 指定寸法以外の釘使用の禁止

指定以外の釘を使用すると、規定の留付け強度を確保することができません。

・ 専用パネルジョイント部の突きつけ施工禁止

シーリング処理が出来ず、下地の動きに対応できなくなりタイルに亀裂、剥離、剥落等を発生する場合があります。

・ 専用パネルの釘打ち位置は、端部から 20～35 mm内側としてください。

・ タイルの突きつけ施工禁止

タイル施工時に縦目地幅を確保せず 1.5～2mm 程度の幅を確保しない場合、タイル同士が干渉して欠け、亀裂、剥離、剥落等を発生する場合があります。

（2）施工環境での禁止・留意事項

・ タイル張り時における専用パネル、セラミックタイル、その他副構成材等の水濡れ

接着性能の低下の原因になりますので、乾燥させた後に施工してください。

・ 気温が 5℃以下での施工

気温が低下すると、接着剤の硬化が大幅に遅くなります。低下が予想される場合は、作業を中止してください。

1-3 免責事項

この商品は、住宅等の外壁材として十分満足しうる品質を備えていますが、正しい施工と維持管理が行われることによって初めて耐久性や耐候性、その他の諸性能が発揮されるものです。正しい施工と適切な維持管理を是非とも実施していただきますようお願いいたします。

- (1) 壁体性能の品質低下に関係のない経年変化による外観上の変化（専用パネルにまたがるタイルの目地幅の変化）
- (2) 建築・躯体の構造及び仕様に起因する場合
- (3) 当社の定める設計基準に反して設計が成された場合
- (4) 当社の定める施工基準に反する施工、その他施工上の瑕疵、又は施工書の不法行為、債務不履行等による場合
- (5) 純正部材・部品又は指定部材・部品を使用しなかった場合
- (6) 当社の製品以外の部材による場合
- (7) 伝い水による汚れの付着、釘部や金属製の化粧部材（水切り・出隅等）の錆やもらい錆、カビ、藻類などによる外観上の変化による場合
- (8) 入居者（管理者を含む）または、第三者による維持管理不行き届き並びに故意・過失による場合
- (9) 外装工事完了後の増改築や補修又は設備機器・看板等の取り付け工事などによる場合
- (10) 建物自体の変形や変位による場合
- (11) 内部結露による下地材の腐蝕、経年変化による下地材の反り・くるいなどによる場合
- (12) 天災（廻りの戸建て住宅が過半被害を受ける自然災害や不可抗力）又は地盤・周辺環境・公害などに起因する場合
- (13) 施工基準に反する保管・取扱いなど、施工管理が十分になされなかったことによる場合
- (14) 初期の破損又は不具合を発見したにもかかわらず、長期間放置したために生じた拡大被害の場合
- (15) 施工当時実用化された技術では予測することが不可能な現象による場合
- (16) 内部結露又は伝い水によって基材に損傷が生じた場合
- (17) 外装工事以外の工事上の不具合による場合
- (18) 金属タワシ・金属ブラシなど不適当な器具及び薬品を用いた洗浄・又は不適切な高圧洗浄などによる損傷の場合
- (19) 特殊環境地域（温泉場、焼却炉付近、特殊ガス・熱・酸・アルカリ・塩類を発生する施設や工場、塩害地区、海・湖・河川等の周辺で常時しぶきがかかるような地域、粉塵及び金属粉・石粉が堆積する地域）における損傷の場合
- (20) その他、当社の責に帰さない理由による場合

その他、ご不明な点などありましたら、弊社営業窓口までご相談ください。

2. システムの構成

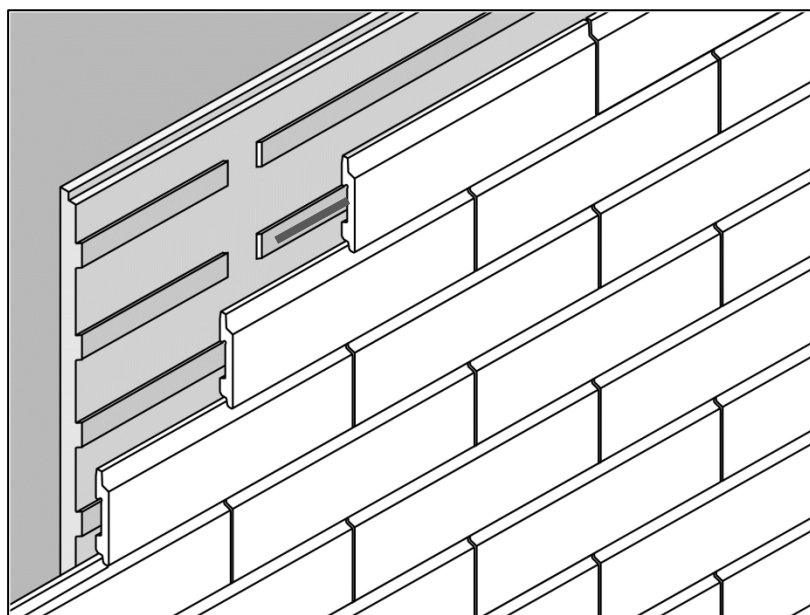
システム構成は、木造軸組、枠組で構成された基本壁面に専用パネルを留め付け、そこに配列された爪部に嵌合できる裏面を有したセラミックタイルを引っ掛けていく簡単施工で、有機系接着剤と併用して剥離のない確実な乾式施工方法をご提供いたします。

窯業系サイディングで専用パネルを構成していますので、通気工法が標準工法となります。専用パネルの胴縁への留め付けには、釘（ステンレスリング釘、ステンレススクリュー釘）を用います。

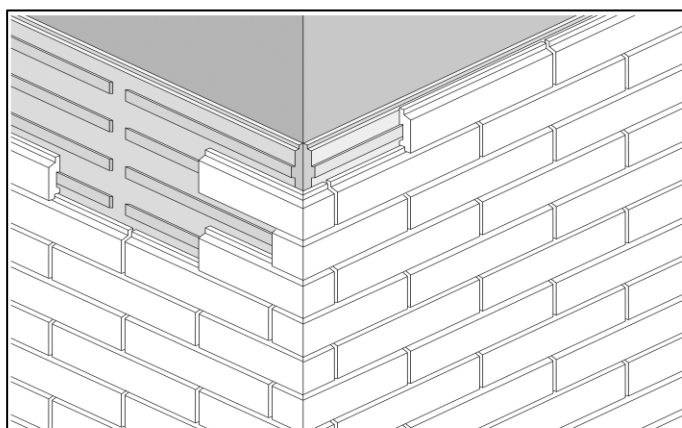
従って鉄骨建造物への施工には、この専用パネル PB-90 は使用できませんのでご注意ください。

システム構成図

□ 平面部の納まり



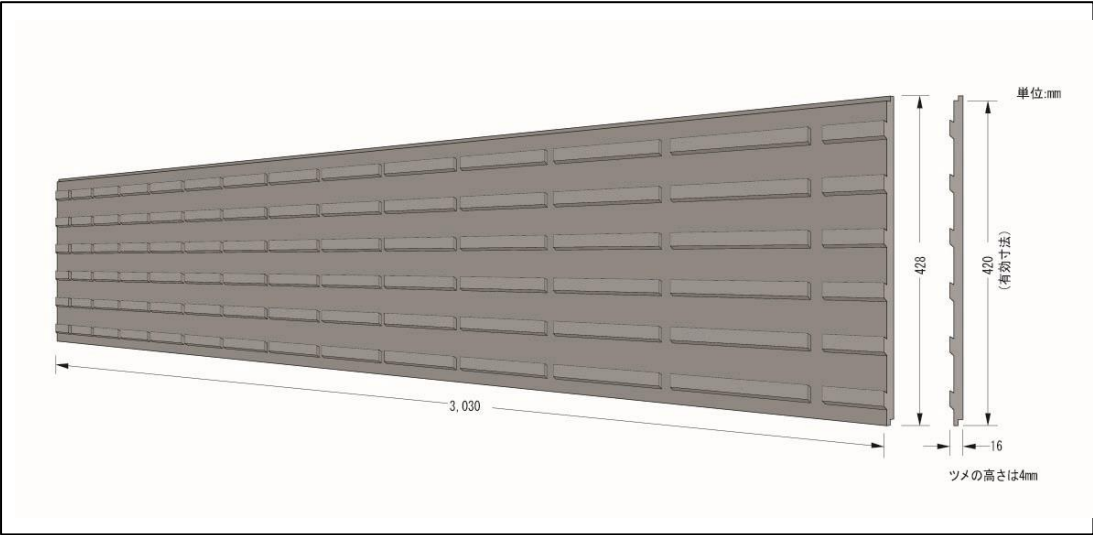
□ コーナー部の納まり



3. 材料

3-1 専用パネル

品番 : PB-90
 実寸法 : 3,030×420×16 mm (全幅 428 mm)
 m²必要数 : 0.72 枚
 1 梱包数 : 2 枚
 重量 : 約 50kg/梱包
 材質 : 木質系繊維混入セメント・けい酸カルシウム板



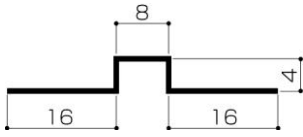
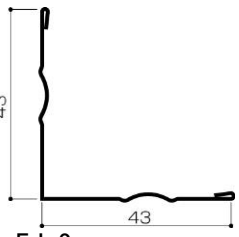
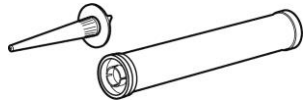
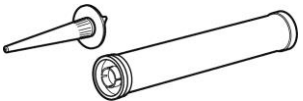
3-2 セラミックタイル〈セラレーンPBシリーズ〉

二丁掛平	縦張り用平
標準曲り (右)〈接着加工品〉	標準曲り (左)〈接着加工品〉

※タイルシリーズによって、若干仕様が異なります。詳しくは「ニッタイ タイル・建材カタログ」をご覧ください。

3-3 副構成材

弊社で取扱い可能な部材です。

ハット型ジョイナー	入隅用ジョイナー	
L=3,030 mm 10本/梱包  品番：HJ-2	L=3,030 mm 10本/梱包  品番：EJ-2	
タイル張り付け用有機系接着剤	専用シーリング材	共通専用ホルダー
ソフトカートリッジ専用ホルダー 内容量：320ml 1箱入数：10本/箱  品番：PBS-1	ソフトカートリッジ専用ホルダー 内容量：320ml 1箱入数：10本/箱 同梱：専用プライマー100cc  品番：PBC-BL	 品番：PBSC-H

3-3 推奨補助部材

補助部材に関しては、推奨品仕様の現品または同等品をご利用願います。推奨品仕様に掲げた内容は代表的な仕様を挙げましたが、同等品であれば使用可能です。

弊社では在庫しておりませんので、市場の中でご準備をお願いいたします。

部 材 名	推 奨 品 仕 様	掲載 P
通気土台水切り、出隅用、入隅用	塗装高耐食 GL めっき鋼板 厚さ 0.35 mm 50mm 立ち上がり品または同等品	9、15
防水テープ	ブチルゴム系 両面粘着タイプ他、幅 50mm 以上の同等品	10、18
透湿防水シート	長さ 50m×幅 1m×厚 0.2 mm ポリエチレンフィルム + ポリエステル不織布同等品 NYG 協会推奨品から選択	10
窯業系サイディング留め付け用釘	φ2.3×45 mm以上のステンレスリング釘またはステンレススクリュー釘	11
片ハット型ジョイナー	GL めっき鋼板 厚さ：0.3 mm程度 立ち上がり 3 mm程度の同等品	18、19
水抜き部材	材質：ポリエチレン樹脂	12、13、18、19
小口シーラー	特殊アクリル樹脂系または同等材質品	17
バルコニー水切り（オーバーハング部）	GL めっき鋼板 厚さ：0.35 mm L=3,030 mm	20

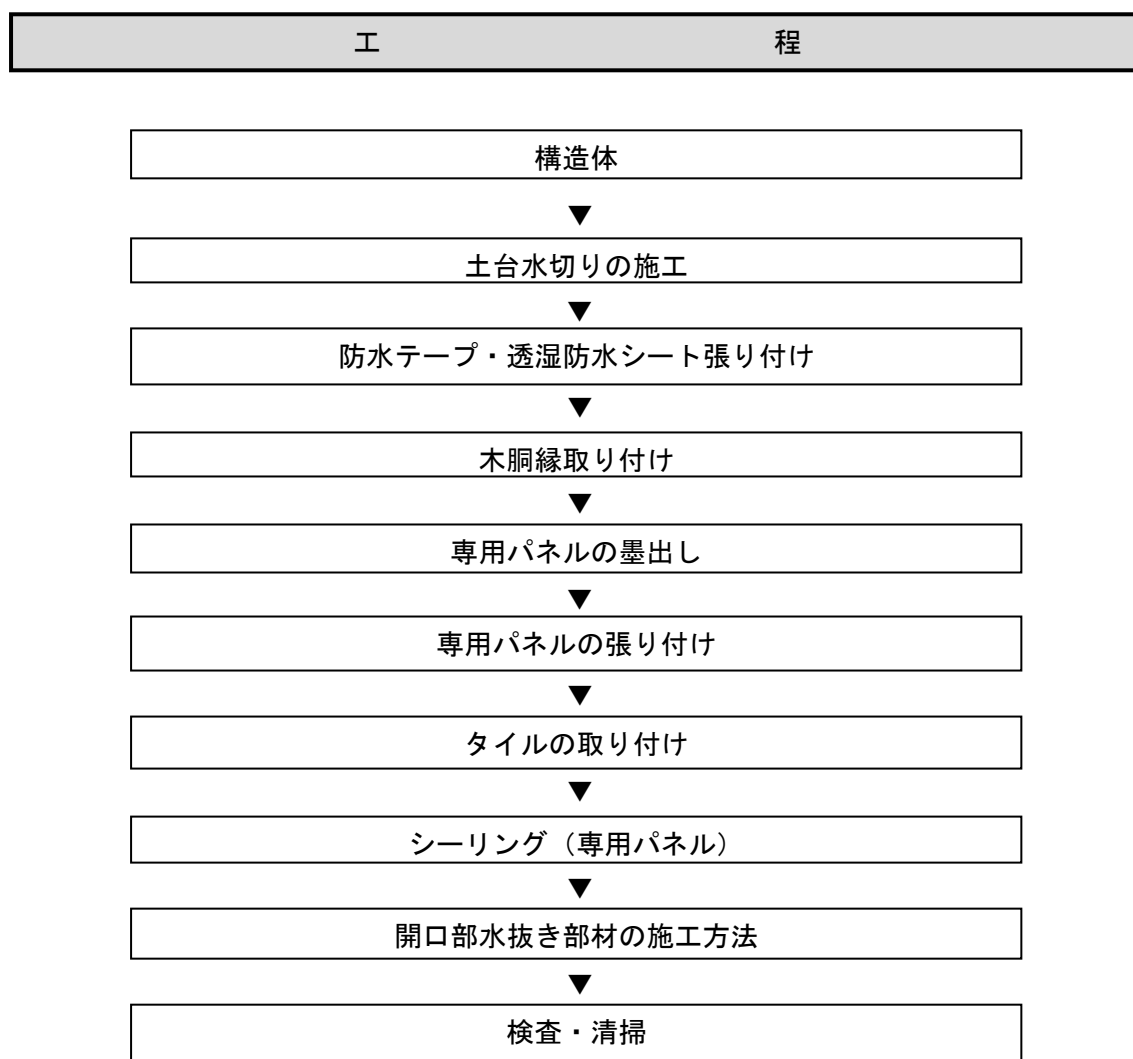
4. 施工手順

4-1 施工前の注意点

- ・ 下地をモルタルで仕上げず、専用パネルにタイルを引っ掛ける工法のため、躯体自体の精度が要求されます。構造体に歪み、段差等があると施工、仕上がりには大きな影響を及ぼしますので、工務店様との事前の打ち合わせが必要です。
- ・ タイル張り施工は、他の工事と同時に進行させるのは危険です。振動等により一度割り付け、接着したタイルが移動して目地幅を乱雑にします。
- ・ 施工には必ずタイルをカットする必要性が出てきます。特に特殊形状品は現場での切断が難しいので、あらかじめ切断を外注依頼しておくことで現場での作業が能率よく行えます。

4-2 工程

窯業系サイディング取付け工事及びタイル張り工事の工程を示します。



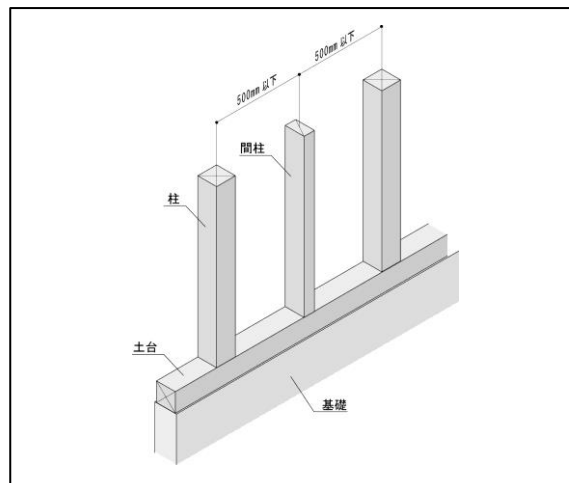
4-3 施工手順

4-2-1 構造体及び専用パネル工事

(1) 構造体

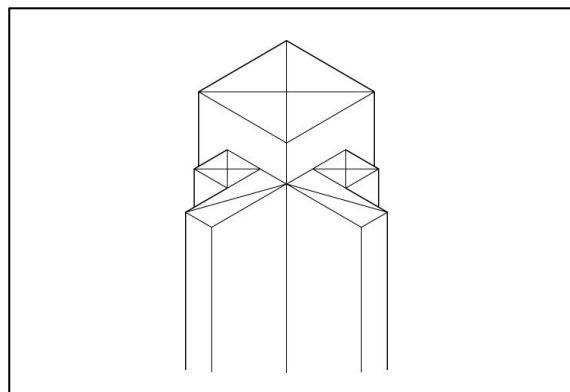
柱、間柱、桁、胴差は外面合わせにして凹凸のないよう調整してください。間柱は 30×105 mm 以上を使用し、主柱、間柱ピッチは芯々500 mm 以下としてください。

面材として構造用合板等を使用する場合は、板間の段差等で不陸が出ないように注意して留め付けます。また入隅部等胴縁を取り付ける箇所の下地がない場合は、添え木を設けて留め付けができるよう配慮してください（5. 各部の納まり参照）。



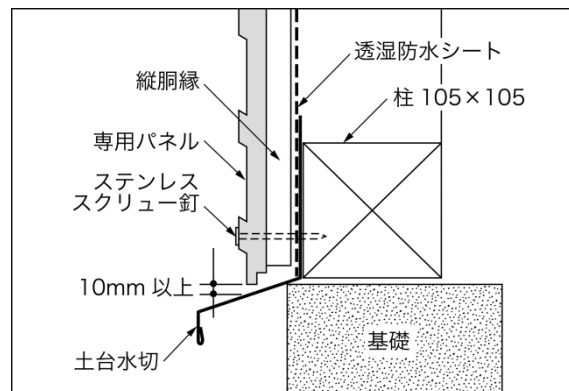
【枠組壁への施工の注意点】

- ・ 構造用合板：厚 9 mm 以上
- ・ スタッド間隔は芯々500 mm 以下
- ・ 入隅部で胴縁留め付け下地がない場合は同様に添え木を利用
- ・ ボルト頭・補強プレート類は座掘して納める



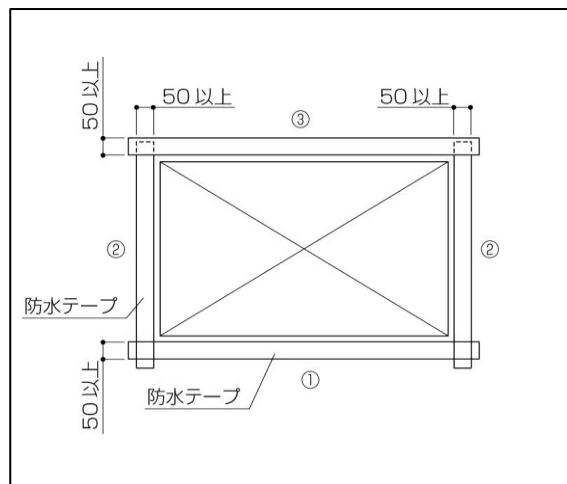
(2) 土台水切りの施工

水平を十分に確認した上で、水平墨を出します。水平墨を出した後に、土台水切りを取り付けてください。専用パネル下端と土台水切りの間隔は、10 mm 以上の隙間を確保してください。

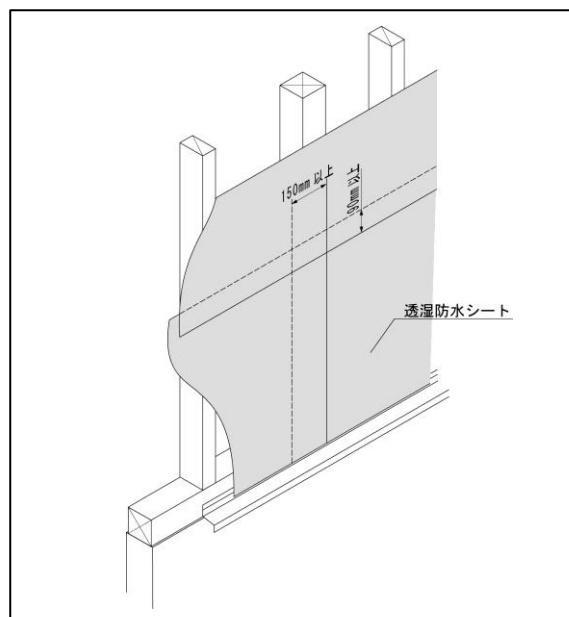


(3) 防水テープ・透湿防水シート貼り付け

開口部廻りや設備配管廻りは透湿防水シートを張る前に防水テープを配置し、2重に重ねてください。防水テープは幅 50 mm以上の両面粘着タイプを選択します。サッシ枠では防水テープは右図の順に貼ります。



透湿防水シートは横張りを原則として、下から順に張り上げて十分な重ねしろ（上下:90 mm以上、左右 150 mm以上）を確保して張ってください。



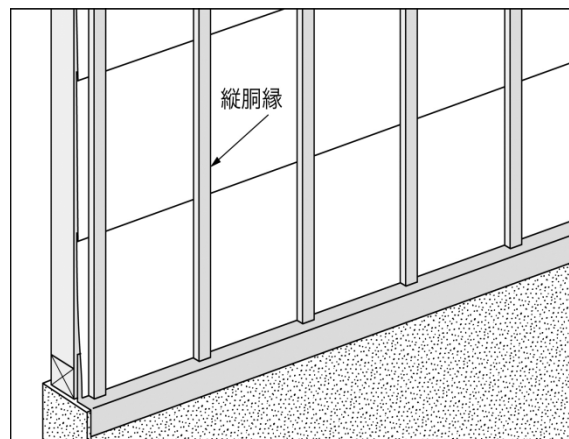
(4) 木胴縁の取り付け

木胴縁サイズ：18×45 mm以上、18×90 mm以上
胴縁留め付け釘：長さ 65 mm以上の鉄釘または
ねじ

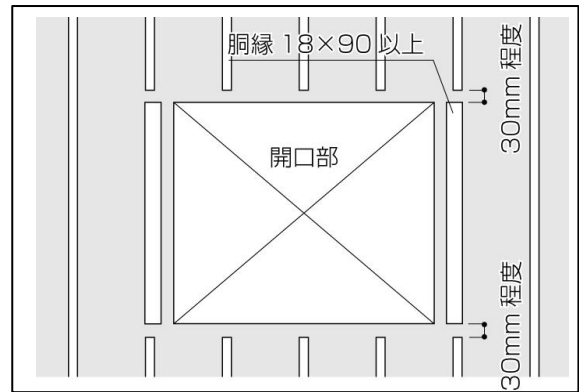
500 mmピッチ以下（柱：間柱間隔）で取り付けてください。専用パネルジョイント部、出隅、入隅部、開口部横の胴縁は、90 mm幅以上を使用してください。

胴縁留め付けには、18×45 mmサイズでは1列、18×90 mmサイズでは2列で鉄釘またはねじで留め付けます。透湿防水シートがあまりたわまないよう注意して留め付けます。

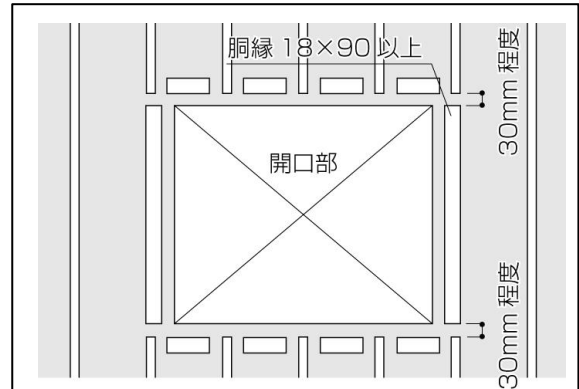
ただし入隅部の胴縁は添え木等で補強しますので、1列でも構いません。



開口部は、窓下の腰壁や窓上部の通気を確保するために、窓廻りと胴縁間に 30 mm 程度の隙間をあけてください。



専用パネルが開口部の上下で、割付幅 100 mm 以下となる場合は、補強胴縁を取り付けてください。



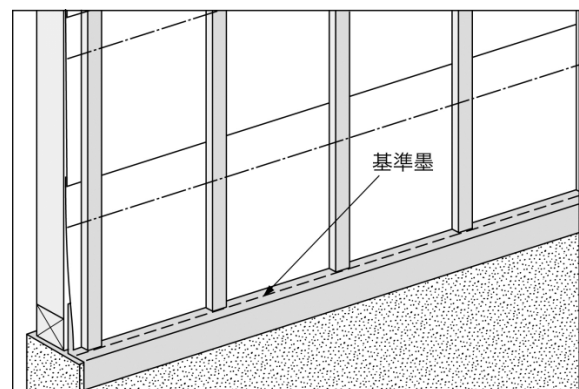
【枠組壁への施工の注意点】

- ・ 胴縁は下地スタッドに確実に留め付ける
- ・ 構造用合板のみの留め付けにならないよう添え木等で工夫すること
- ・ 胴縁留め付けには強度を上げるため、長さ 50 mm 以上のねじを使用すること

(5) 専用パネルの墨出し

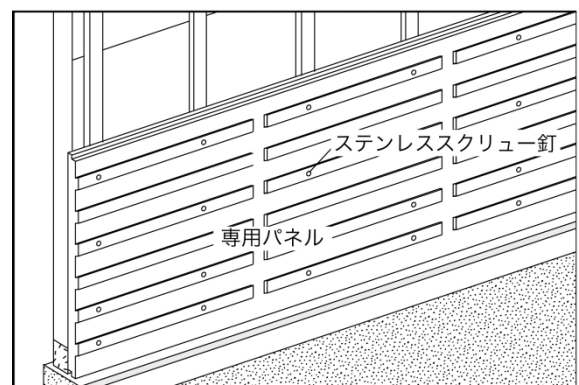
まず基準墨を出し、専用パネル取り付け位置ごとに水平墨を出してください。

専用パネルのジョイント部は、必ず本柱（105×105 mm）で行ってください。



(6) 専用パネルの留め付け

専用パネル留め付けにはφ2.3×45 mm以上のステンスリング釘またはステンスクリュー釘を使用します。幅方向に3本、長さ方向には胴縁ごと（500 mm以下）で留め付けます。それぞれ専用パネル周辺から約 30 mm 中側で留め付けます。それより外側で打つと、専用パネルが割れたり強度低下が起こります。従って、必ず端面から 30 mm を確保して留め付けるようにしてください。



(7) シーリング（専用パネル）

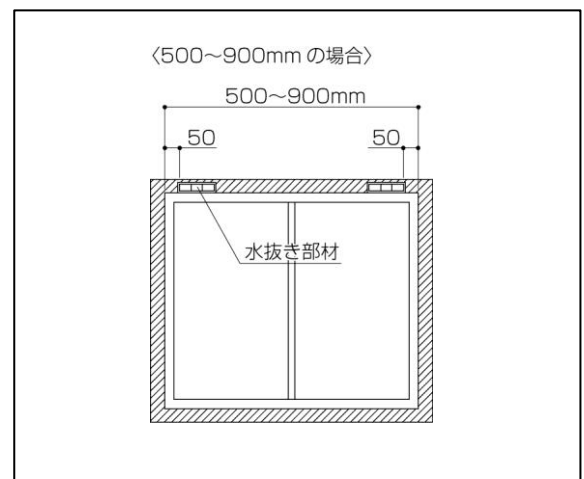
専用パネル縦継部には、ハット型ジョイナーを挿入して留め付け、シーリング処理をします。

シーリングには専用シーリング材 PBC-BL を用いて、窯業系サイディングジョイント部、出隅部、入隅部、開口部周辺に施します。シーリング材にはプライマーが同梱されており、シーリング打設面には必ず塗布してください。季節にもよりますが、乾燥に約 30 分間が必要です。その後、シーリング処理を行います。

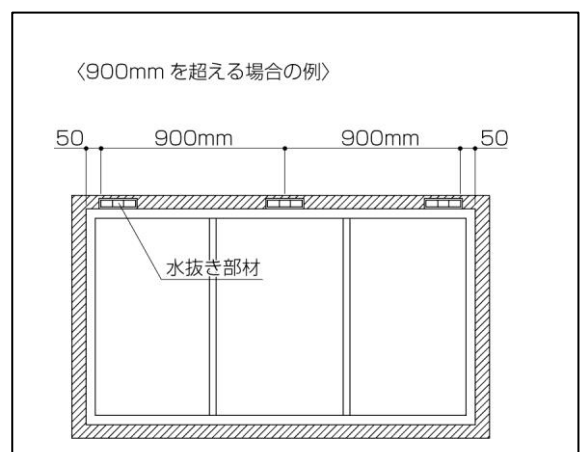
また専用パネル表面にシーリング材が付着残存すると、タイル施工時に不陸による不具合になりますので、注意して処理してください。はみ出した部分は、すぐに拭き取ることをお薦めします。



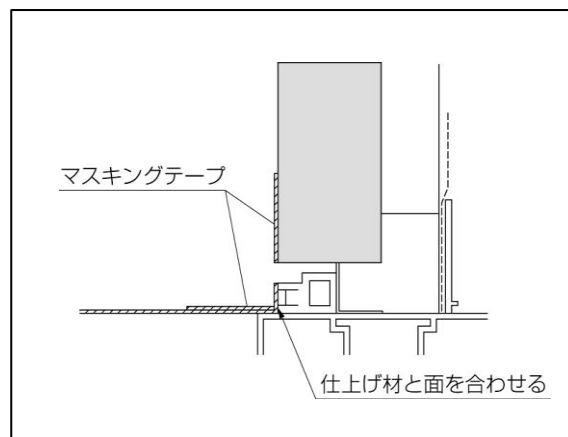
開口部では、幅が 500 mm 以上の上側に水抜き部材をシーリングする際に挿入してください。開口幅が 500～900 mm の場合は開口端部から 50 mm 離れた位置に 1 個ずつ、合計 2 個設置してください。



900 mm を超える場合は、開口端部から 50mm 離れた位置に 1 個ずつ設置の上、水抜き部材の間隔が 900 mm を超えないような間隔で設置してください。



水抜き部材は付属の両面テープの離形紙を剥がして、所定の位置に接着します。シーリングは、その周辺にマスキングテープを貼りつけて行い、水抜き孔を塞ぐことのないよう気を付けてください。また開口部水抜き部材の背面にも、浸入水や排水を妨げないようにするため、その部分だけは片ハットジョイナーを入れないように注意してください。

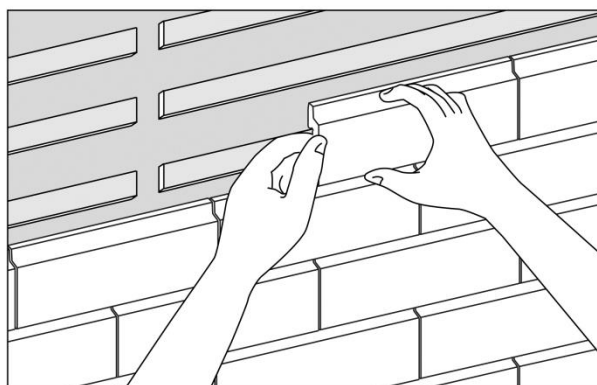
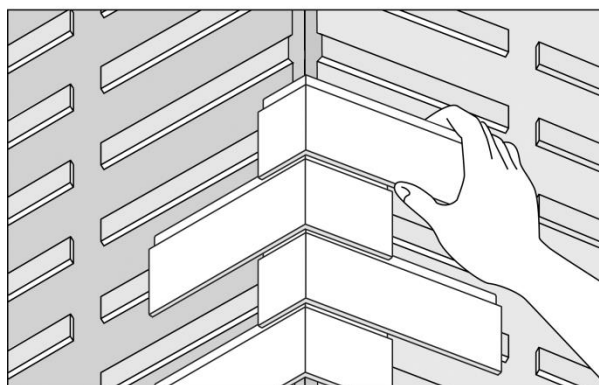
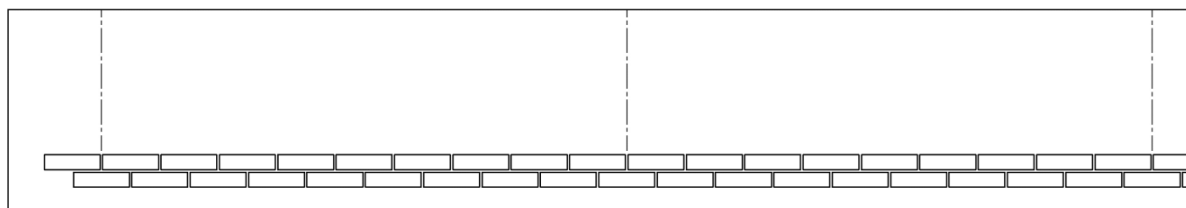


専用パネルでシーリング処理をしないカット小口面については、【小口シーラー】を塗って防水処理を行ってください。専用パネルには、シーリング処理なしの小口面での処理が必要です。

(8) タイルの取り付け

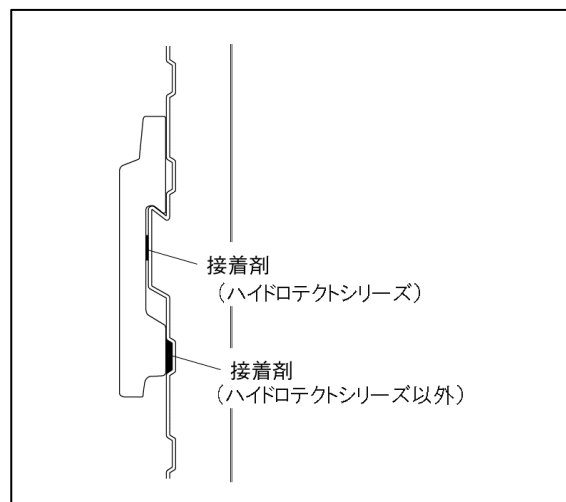
最初に 2m 間隔に垂直墨を出してください。次に上端または下端付近で一度仮置きし、タイル割付けの確認を行ってください。タイル縦目地を調整することにより、タイルの切断を減らすことができます。

取り付けには①出隅部 ②平面部 ③開口部周辺の順に行ってください。



一液性湿気硬化型ウレタン系接着剤 PBS-1 を使って、約 2 m²程度を一度に張り終えることができるサイクルを目安に進めます。

接着剤の塗布位置はタイルシリーズによって異なりますので、注意してください。



接着剤がタイル表面に付着した時は、ただちにシンナー等溶剤で除去してください。

タイルの切断にはタイルカッターを使用してください。ただし切断幅が 20 mm 以下の場合や、斜めに切断する必要がある場合はダイヤモンドホイールが必要です。

(9) 検査・清掃

施工によるタイルの割れ、欠け、汚れなどの欠点の有無について検査してください。タイル表面に接着剤が付着した場合は、スクレーパー、カッターナイフ等を使用しタイルを傷付けないように接着剤表面を削り取り、残りを砂消しゴム等で削り取り去ります。

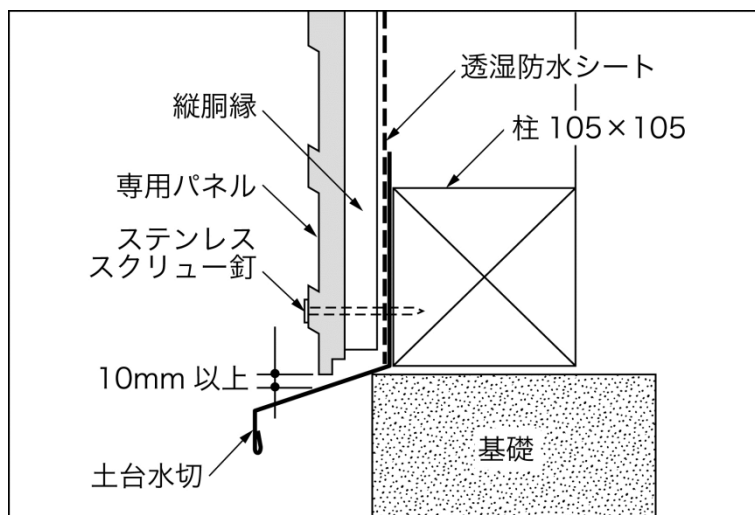
施工による不陸や、段差の程度及び出入隅の通りについて検査してください。張り上げ接着硬化後のタイル自体に異常がある場合は、そのタイルを細かく砕いて取り除きます。下地の窯業系サイディングに影響しないように加減して進めます。接着剤をきれいにカッターナイフ等で除去した後、新たなタイルを接着します。

巻末チェックリストを参考に検査してください。

毎日の作業終了時には、タイル面及びその周囲の清掃を行います。

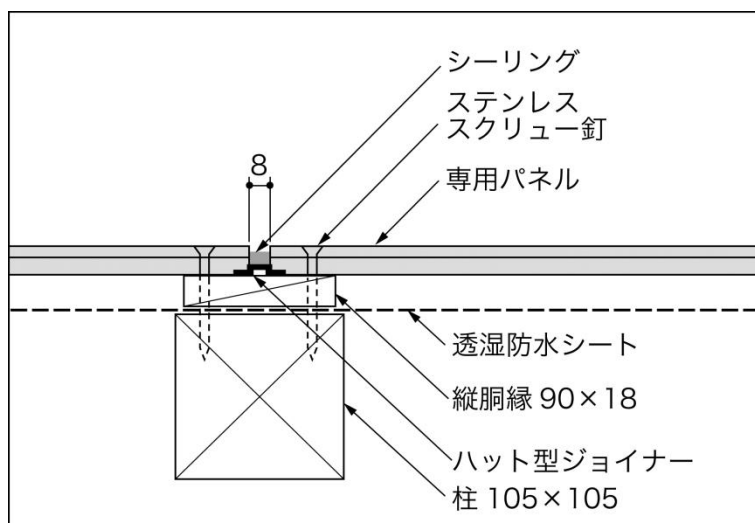
5. 専用パネル・各部の納まり

(1) 土台部



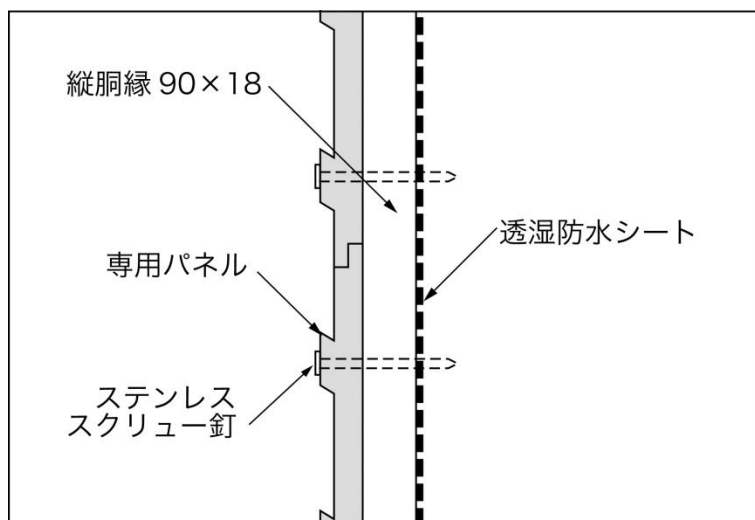
- ・専用パネルの釘打ち位置は、パネル端部から20～35 mm内側としてください。
- ・パネル先端と土台水切りの間隔は、必ず10 mm以上の隙間を確保し、シーリング等で塞がないようにしてください。通気工法での吸気や、結露水の排出が目的です。
- ・専用パネルのシーリングしない小口面は、小口シーラーで防水処理をしてください。

(2) 専用パネル縦ジョイント部



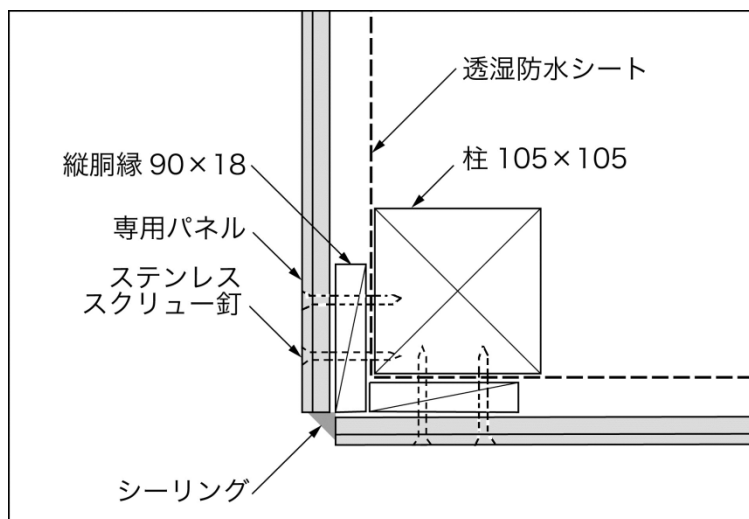
- ・専用パネルの釘打ち位置は、パネル端部から20～35 mm内側としてください。
- ・縦ジョイント部の下地胴縁は、90 mm幅を選択します。
- ・ハット型ジョイナーを入れて目地幅8 mmとしてシーリング処理を行います。
- ・本柱部分(105×105 mm以上)に専用パネル接合部が取れるように配慮してください。

(3) 専用パネル水平ジョイント部



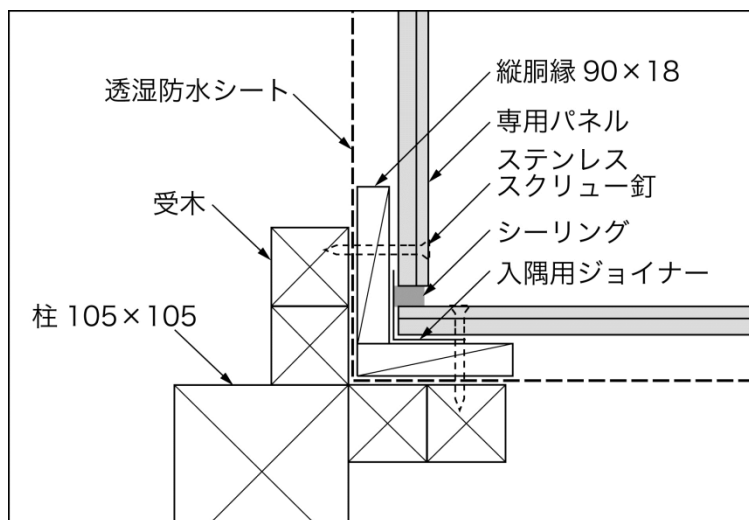
- ・専用パネルの釘打ち位置は、パネル端部から20～35 mm内側としてください。
- ・専用パネルは、下から順に張り上げ、実部で確実に嵌合するように留めていきます。
- ・不陸ができないよう調整しながら、釘留めしてください。
- ・縦胴縁ごとにステンレスリング釘・又はステンレススクリーュー釘(φ2.3×45 mm以上)を用いて、専用パネルの幅方向に3本で留め付けてください。

(4) 出隅部



- ・専用パネルの釘打ち位置は、パネル端部から 20～35 mm 内側としてください。
- ・シーリング処理は専用パネルの爪部を汚さないようにしてください。硬化後タイルがはまらなくなることがあります。
- ・出隅部の専用パネル取付けは、2 本の釘で留め付けてください。もっとも躯体の動きが激しい部位のため、増し締めは必ず必要です。
- ・透湿防水シートは二重張りとし、損傷の無いように施工してください。

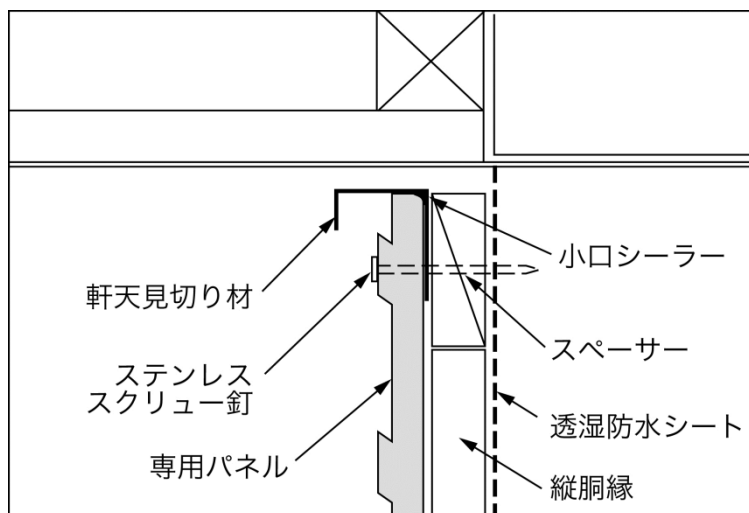
(5) 入隅部



方を 10 mm の隙間を形成してシーリングします。

- ・透湿防水シートは二重張りとし、雨仕舞いが確実にできるようにしてください。

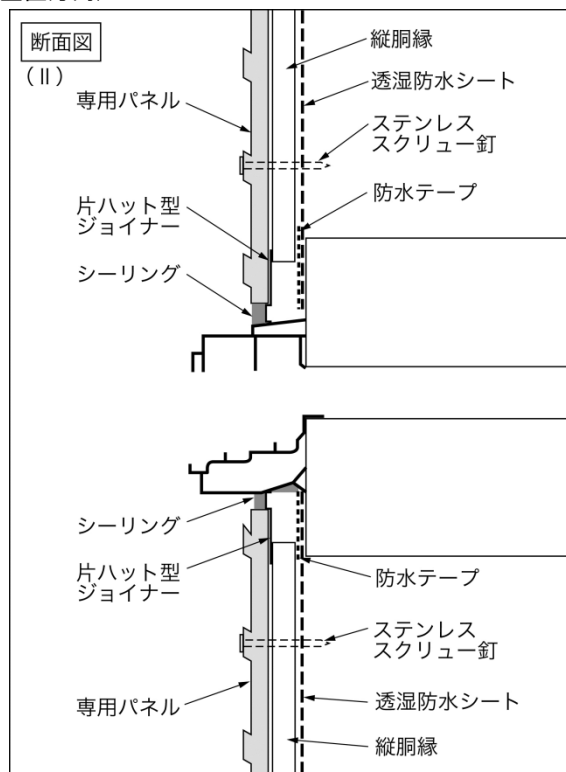
(6) 軒天部



- ・専用パネルの釘打ち位置は、パネル端部から 20～35 mm 内側としてください。
- ・軒天部のタイルと軒天の間は、通気口としての役目がある場合は、シーリング等で塞ぐことはできません。軒裏、小屋裏等において換気が取れる構造の場合は、塞ぐ場合もあります。構造をよく確認してシーリングの是非を決めてください。
- ・専用パネルの切断面は吸水止めのため、【小口シーラー】の塗布が必要です。

(7) 開口部 （外付サッシ使用）

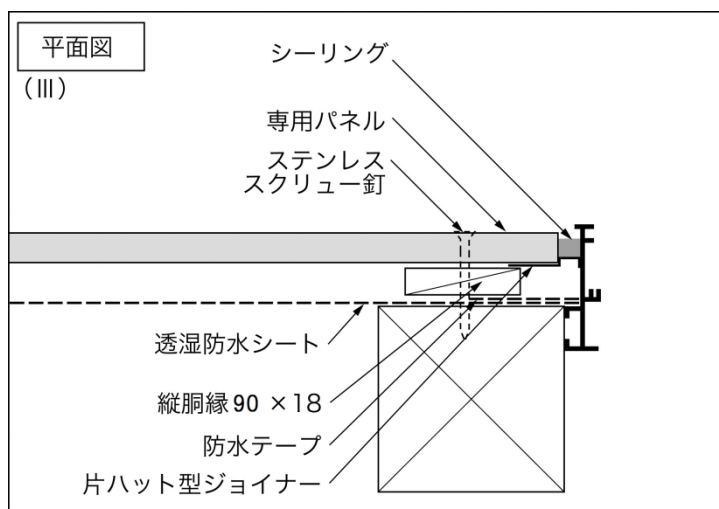
（垂直方向）



- ・専用パネルの釘打ち位置は、パネル端部から 20～35 mm 内側としてください。
- ・サッシは外壁の仕上がり厚さを考慮して選択してください。外壁の仕上がり厚より出具合が勝るサッシを選んでください。
- ・サッシ廻りは防水テープ（両面接着タイプ）を必ず配置し、サッシ枠ツバ部と透湿防水シートを確実に密着させます。
- ・胴縁は、開口部左右側には 18×90 を使います。開口部周辺（胴縁-サッシ廻り）の間隔は、30 mm 程度の隙間を開けて、通気の妨げにならないようにしてください。
- ・専用パネルはサッシ廻りとの隙間を 10mm 確保して、片ハットジョイナー挿入後、シーリング処理します。
- ・周辺左右のタイルは、カットして納めます。割り付けに従って、必要な箇所をカットして納めてください。またシーリング面にもタイルを載せますが、タイル-サッシ間は糸目地程度（2～3 mm）開けて張りつけ、突き付けることの無いようにお願いいたします。

- ・水抜き部材を挿入する場合は、水抜き部材背後のみ片ハットジョイナーを入れないでください。またそこはシーリングで塞ぐことのないようにしてください。

（水平方向）

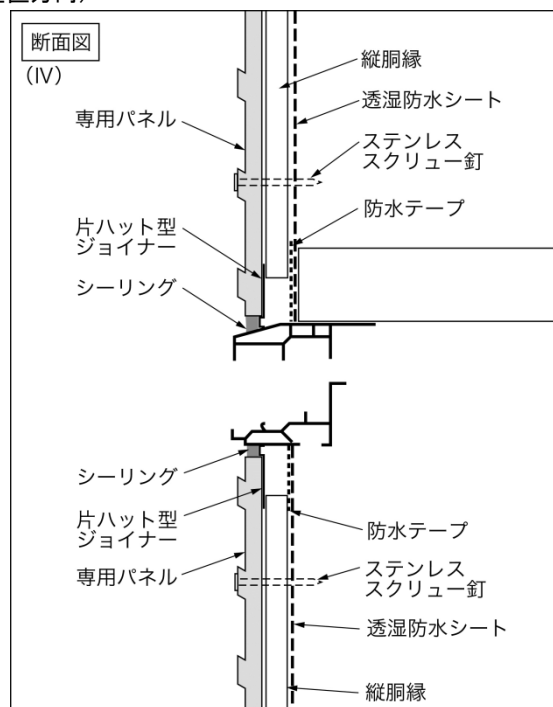


- ・専用パネルの釘打ち位置は、パネル端部から 20～35 mm 内側としてください。
- ・胴縁と開口部周辺（胴縁-サッシ廻り）の間隔は、30 mm 程度の隙間を開けて通気の妨げにならないようにしてください。
- ・専用パネルはサッシ廻りとの隙間を 10mm 確保して、片ハットジョイナー、シーリング処理します。
- ・周辺のタイルはカットして納めます。上挿入後下のタイルは縦使い（縦張りカット品）を用いて、タイルの幅方向のピッチを合わせます。タイルの幅方向にカットすることは、極力避けてください。

- ・シーリング表面にも重ねるようにタイル接着を行います、タイル-サッシ間は糸目地程度（2～3 mm）開けてください。

(8) 開口部 (半外付サッシ使用)

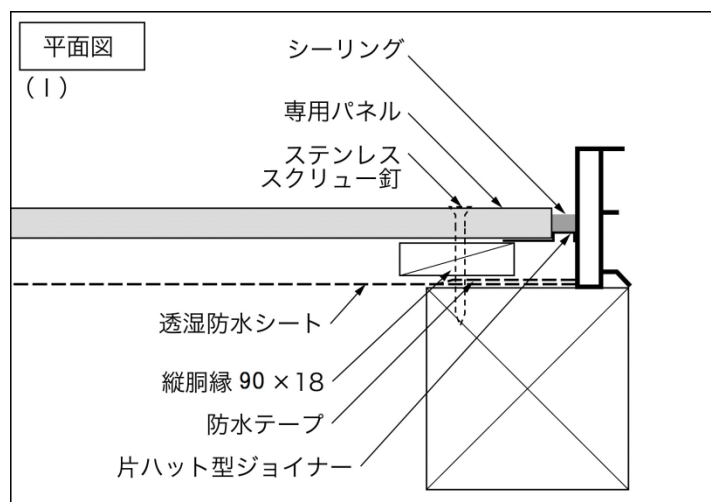
(垂直方向)



- ・専用パネルの釘打ち位置は、パネル端部 20～35 mm 内側としてください。
- ・サッシは外壁の仕上がり厚さを考慮して選択してください。外壁の仕上がり厚より出具合が勝るサッシを選んでください。
- ・サッシ周りは防水テープ（両面接着タイプ）を必ず配置し、サッシ枠ツバ部と透湿防水シートを確実に密着させます。
- ・胴縁は、開口部左右側には 18×90 を使います。開口部周辺（胴縁-サッシ廻り）の間隔は、30 mm 程度の隙間を開けて、通気の妨げにならないようにしてください。
- ・専用パネルはサッシ廻りとの隙間を 10mm 確保して、片ハットジョイナー挿入後、シーリング処理します。

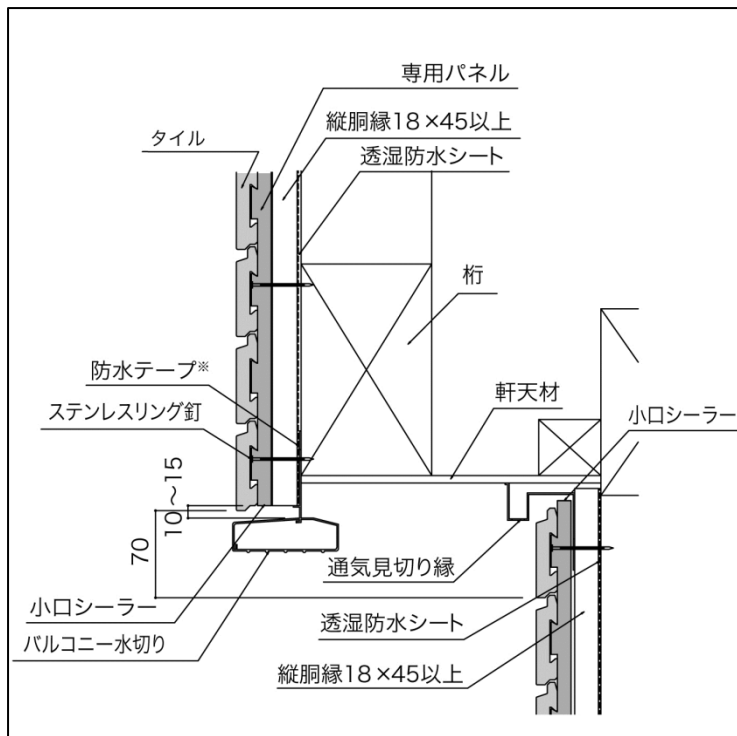
- ・周辺左右のタイルは、カットして納めます。割り付けに従って、必要な箇所をカットして納めてください。またシーリング面にもタイルを載せますが、タイル-サッシ間は糸目地程度（2～3 mm）開けて張りつけ、突き付けることの無いようにお願いいたします。
- ・水抜き部材を挿入する場合は、水抜き部材背後のみ片ハットジョイナーを入れないでください。またそこはシーリングで塞ぐことの無いようにしてください。

(水平方向)



- ・専用パネルの釘打ち位置は、パネル端部から 20～35 mm 内側としてください。
- ・胴縁と開口部周辺（胴縁-サッシ廻り）の間隔は、30 mm 程度の隙間を開けて通気の妨げにならないようにしてください。
- ・専用パネルはサッシ廻りとの隙間を 10mm 確保して、片ハットジョイナー挿入後、シーリング処理します。
- ・周辺のタイルはカットして納めます。上下のタイルは縦使い（縦張りカット品）を用いて、タイルの幅方向のピッチを合わせます。タイルの幅方向にカットすることは、極力避けてください。
- ・シーリング表面にも EY-20 を塗布してタイル接着を行います。タイル-サッシ間は糸目地程度（2～3 mm）開けてください。

(9) オーバーハング部



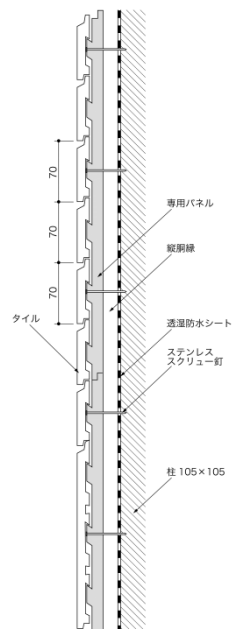
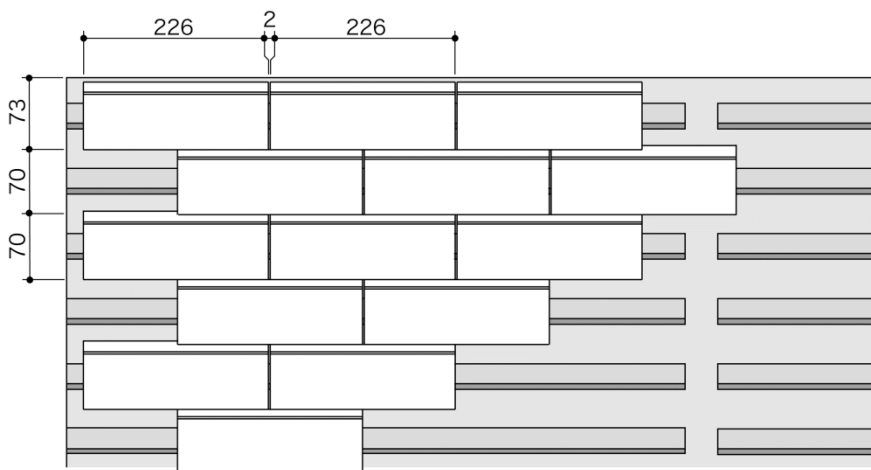
- ・ 専用パネルの釘打ち位置は、パネル端部から 20～35 mm 内側としてください。
- ・ オーバーハング部下端は、バルコニー水切りを使用して納めてください。
- ・ バルコニー水切りと専用パネルは、10～15 mm の隙間を設けてください。
- ・ バルコニー水切りと専用パネルは、シーリングしないでください。
- ・ 専用パネルの下部カット部分には、小口シーラーを塗って防水処理をしてください。

6. タイルの納まり

(1) 平面部

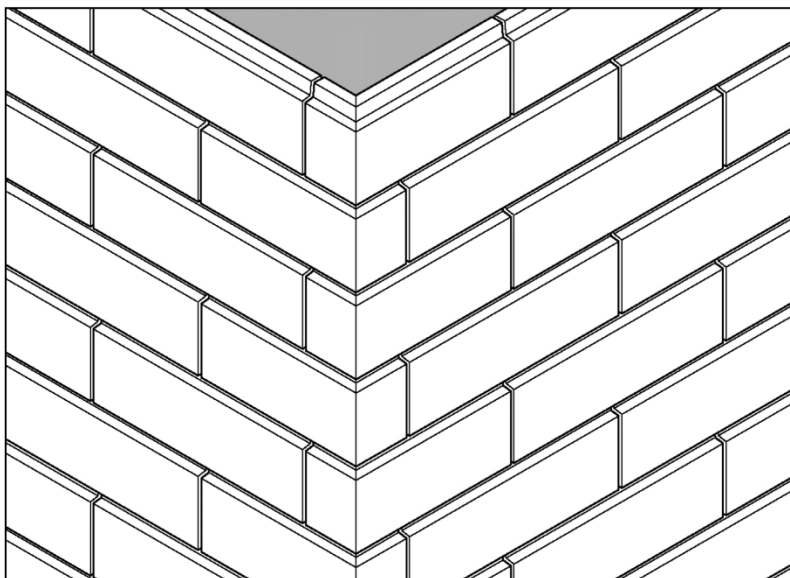
- ・横目地は 10 mm で固定です。
- ・縦目地は 2 mm を基本としますが、 ± 1 mm の間で調整可能です。

付き付け施工は絶対に避けてください。地震等躯体自体が動くことを想定し、必ず縦目地は設けてください。

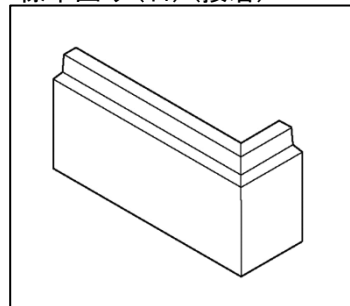


(2) 出隅部

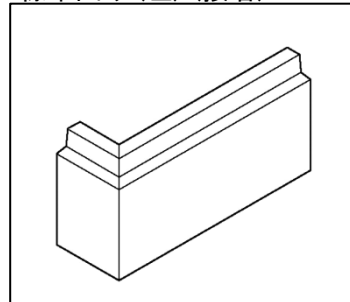
出隅部はタイルの形状と張り方により、選択する役物が異なります。特に発注時に気を付けてください。出隅部は本来のタイル張りのイメージを活かした張り方に出来ます。



標準曲り(右) (接着)

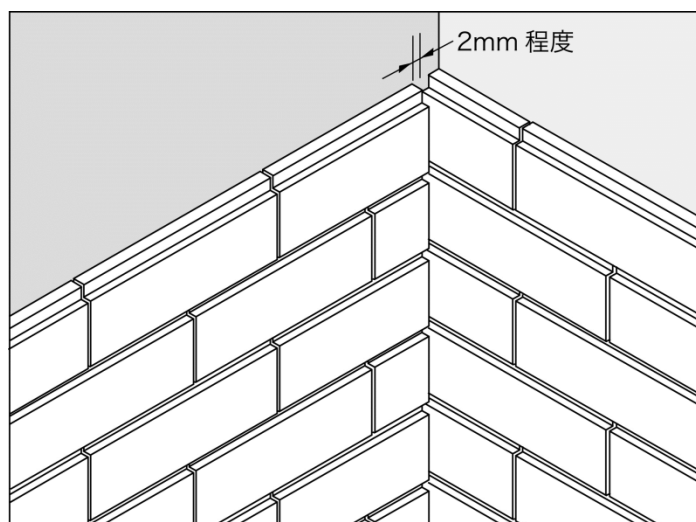


標準曲り(左) (接着)



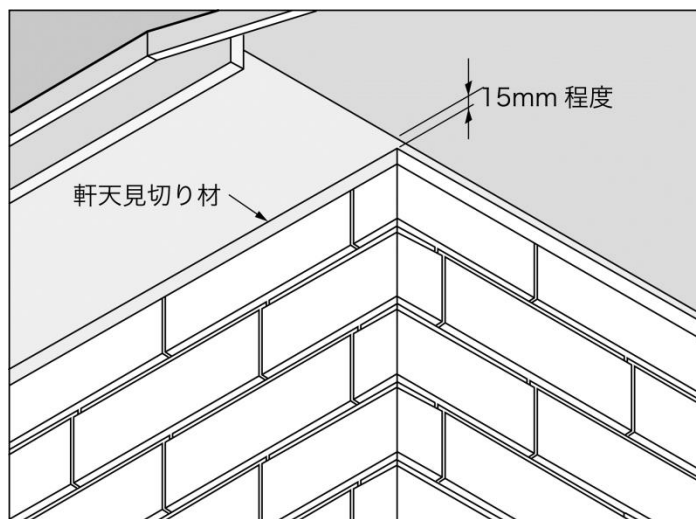
(3) 入隅部

入隅部は平物を下図のように 2 mm程度目地を取って仕上げてください。隙間はシーリング材を詰める必要はありません。



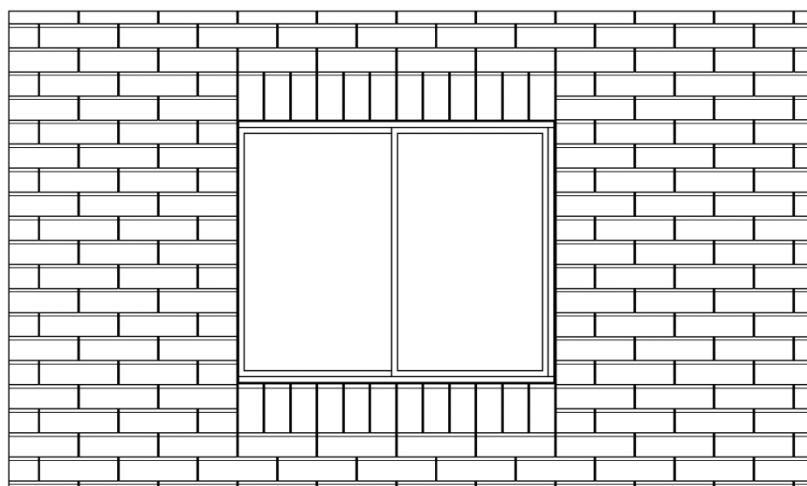
(4) 軒天部

軒天部は 15 mm程度空け、最上部のタイルが引っかかることを確認してください。



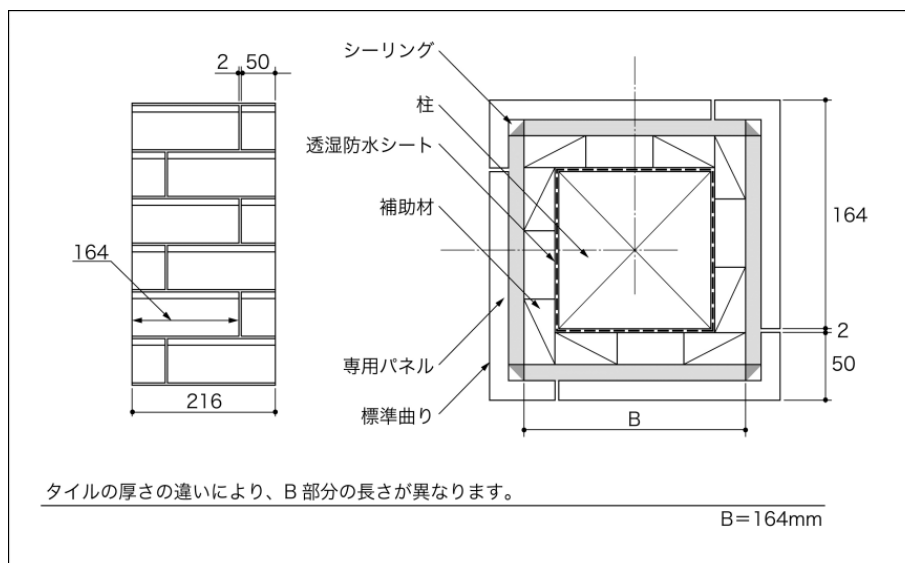
(5) 開口部

開口部上下は縦張り用平をカットして納めてください。縦張り用平を使わず納めることも可能ですが、小さな切物が必要なことがあります。



(6) ポーチ柱部

柱に補助材を打ち回して、タイルの割り付けに合うように仕上がり幅を調整してください。ただしタイルの厚さにより躯体の仕上がり幅は異なりますので、注意してください。



7. タイル割付け注意事項

(1) タイルの割付け

実際の建物には多少の誤差があったり、タイルのモジュール寸法に合わせて設計されたりすることはありません。

そこで施工前に実際現場の実状を把握することが最も重要なこととなりますが、現場状況に合わせたタイル割付けを行うことが必要になります。

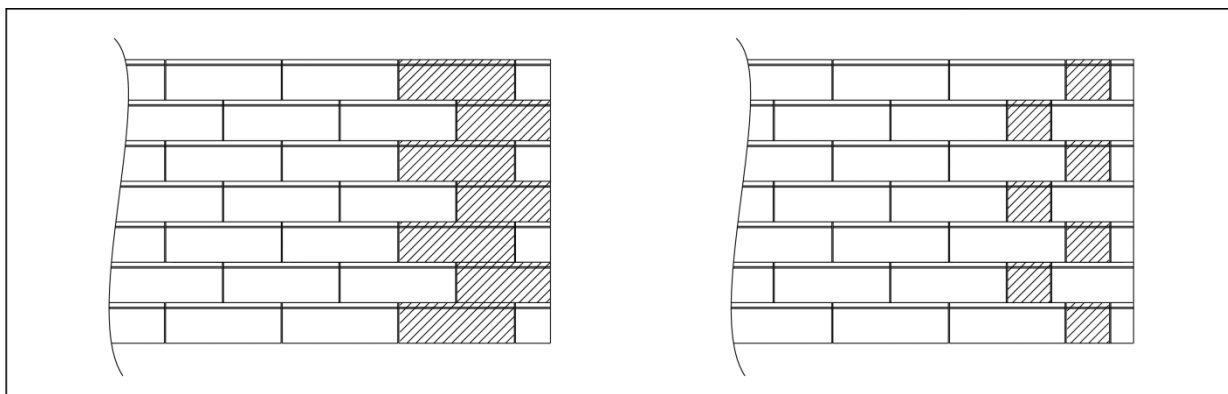
a) 左右方向の割付け

- 各形状指定の目地幅を基準にして、割付けてください。

タイルにも多少の寸法誤差がありますので、目地幅を調整することにより納めてください。

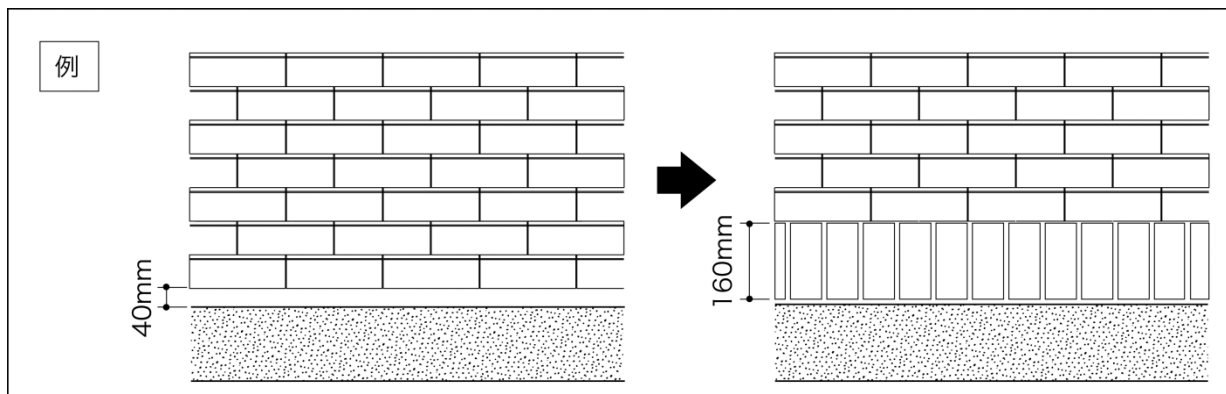
- 目地幅の調整程度では納まらない場合は、平物をカットして納めてください。

割り付けの基本として、人が一番目に付く場所（玄関廻り、バルコニー等）を中心に割付けてください。



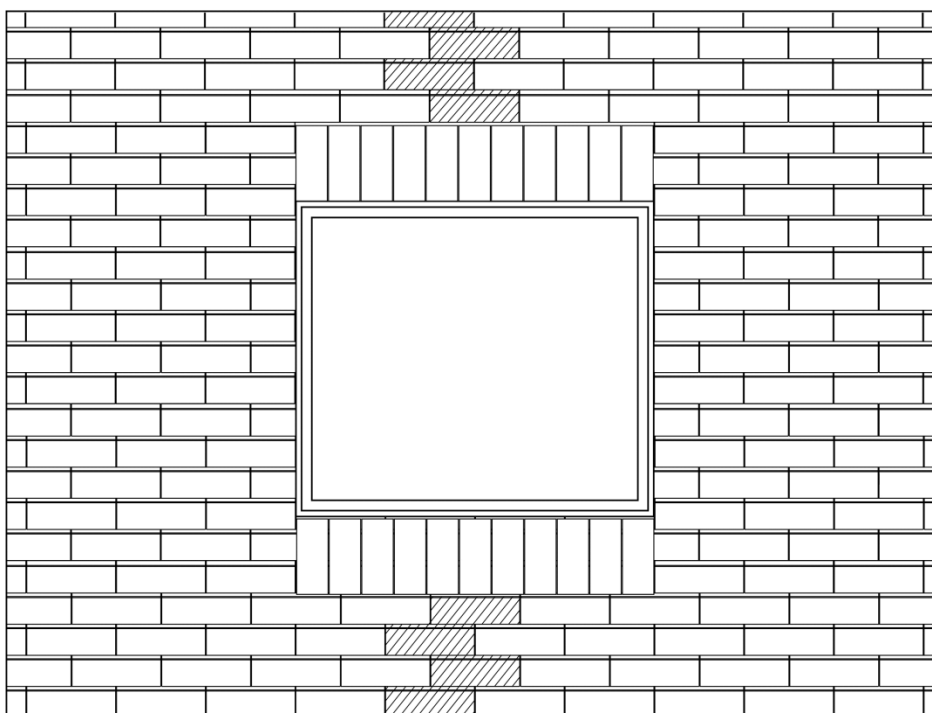
b) 上下方向の割付け

- ・ 上下方向は目地幅 10 mm で一定です。
- ・ ほとんどの場合、実際の躯体の高さはタイル幅＋目地幅（10 mm）の値の整数倍にはなりません。そこで壁面の上部または下部に、縦張り用平をカットした調整帯を作ることにより納めてください。



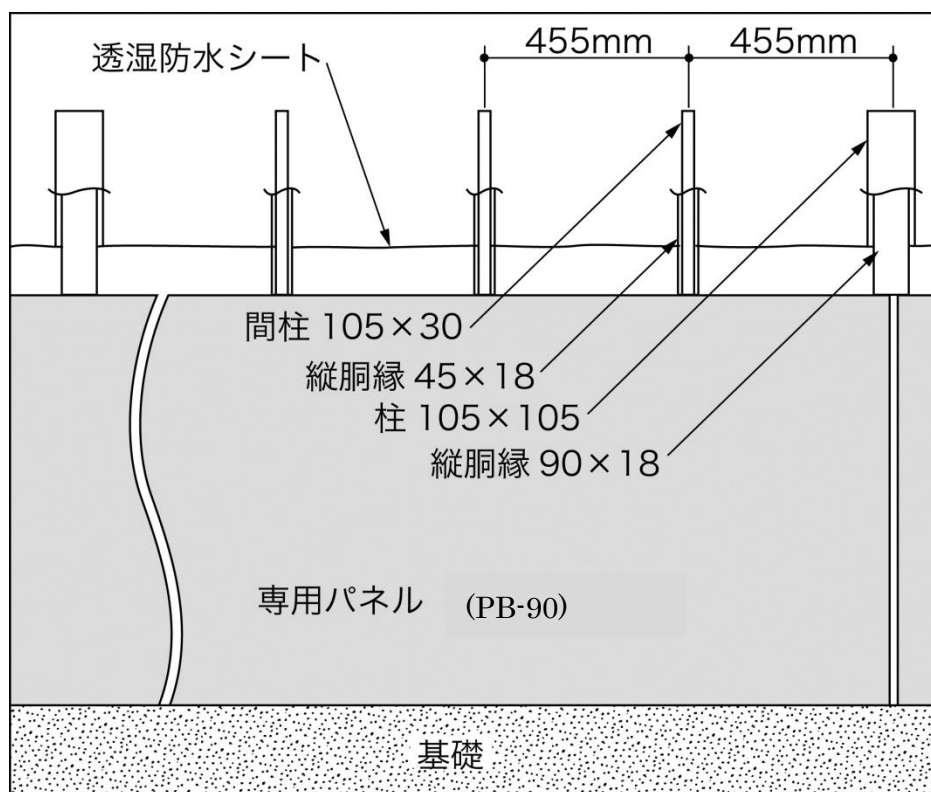
c) 開口部の割付け

- ・ 窓廻り等の開口部の左右方向は、サッシの中心より左右対称に割り付けたほうがきれいに見えるため、平物をカットして納めてください（カット製品は中心あるいは両隅に施工する等納まりの良い部分を検討してください）。
- ・ 上下方向は、縦張り用平をカットして納めてください。



(2) 専用パネルの割付け

- ・専用パネルの割り付けは、タイルの割り付けと密接な関係があります。一般に躯体の高さは、タイル目地共寸法幅の整数倍にならないことが多いため、縦張用平をカットして調整帯としてください。
(参照 7-b))
- ・専用パネルの施工は下から上に積み上げますが、カットの位置は調整帯の位置により決定されます。



タイル施工工事記録用紙 木造系乾式引っ掛け工法タイル用 ニッタイ工業株式会社				記入日	平成 年 月 日
				記入者	
物件名		住所			
タイル施工 工事会社				タイル施工工 事責任者	印
施工日	年 月 日 ～ 年 月 日				

工事チェックリスト

チェック項目		チェック内容	判定	不具合点及び改善内容	処理日
工 事 前	材料確認	各材料は指定の品番か			
		各材料が必要数量納入されているか			
	足場確認	適切な足場が設定されているか			
	タイル納 まり想定	タイル役物等の使用箇所のチェック (目地幅の想定確認)			
	施設確認	水道・電気設備は整っているか			
工 事 中	基本壁面 確認	外装工事、設備工事、防水工事が完了しているか			
		柱位置の把握 芯々500 mm以下に配置されているか			
	下地状況	平滑性は確保されているか			
		ボルト等の出はないか、不陸はないか			
		胴縁及び留付け釘は指定のものを使用されているか			
		防水紙に損傷箇所はないか			
	専 用 パ ネ ル 取 付 け	釘打ち位置は、パネル端部から 20～35 mm以上内側か			
		防水テープは指定部に貼られているか			
		所定のステンレスリング釘（またはスクリュー釘）を使用し、所定の本数、位置で行われているか			
		パネル間の縦継部は8～10mm隙間を確保してジョイナーが入っているか			
		入隅部、開口部廻りにはジョイナーが挿入されているか			
		専用パネルの継ぎ目に段差（2 mm以上）はないか			
	タ イ ル 工 事	タイルの割付けは適切か			
		接着剤塗布位置は適切か			
		目地幅は適切か 糸目地なら 1.5～2mm 程度			
タイルの仕上がり精度は良好か					
接着剤塗布量は 1 本/㎡程度を使ったか					
工 事 後		全体的な仕上げに不具合はないか			
		残材処理・現場清掃はされているか			
		工事完了の報告は成されているか			
＜その他気づいた事項＞					